

情報ぎゅらりー

市役所 〒276-8501 大和田新田 312-5
☎483-1151 (代表)

学生納付特例制度で 国民年金保険料が猶予


前年所得が一定以下の学生で保険料の納付が困難な場合は、申請して承認されれば保険料の納付が猶予されます。対象校は日本年金機構HPの「学生納付特例対象校一覧」で確認できます。申請期間は4月から1年間で、卒業まで毎年度申請が必要です。申請には、マイナンバーか基礎年金番号がわかるものと学生証の写しを国保年金課か支所・連絡所に持参してください。代理人が申請する場合は代理人の身分証明書、同居親族以外の場合は委任状が必要です。郵送やマイナポータルを利用した電子申請も可能です。

(国保年金課☎421-6744)

新築・増築した家屋の調査

家屋調査は、固定資産税・都市計

火災・救急時には 119 番

救急車の適正利用にご協力ください	出動件数	3月	1~3月
	救急	979件	2,984件
	火災・その他	62件	191件

4月の献血

- 22日(月)午前10時~11時45分、午後1時~4時30分、八千代市役所(八千代市献血推進協議会)
- 29日(祝)午前10時~11時30分、午後1時~4時30分、フルルガーデン八千代(八千代市献血推進協議会)

夜間・休日急病診療

◆急病のときは、まず、当番医で受診を

月~金曜日 19:00~翌8:30	内科系(小児科) ☎482-6870
土曜日 17:00~翌8:30	外科系・その他の科目 ☎482-6871
日曜日・祝日 年末年始 8:30~翌8:30	歯科☎482-6872 ※小児科・その他の科目・歯科は、日曜・祝日・年末年始の8:30~17:00のみ

つながらないときは、市役所☎483-1151か消防本部☎459-2441へ。当番医は、市ホームページでも見られます。

やちよ夜間小児急病センター
東京女子医科大学八千代医療センター内
毎日18~23時 ☎458-6090
※23時以降は☎450-6000へ

具合が悪くなり、当番医での受診が必要か判断に迷う時などに看護師や医師が電話で相談に応じます。

【小児】こども急病電話相談
毎日19時~翌朝8時 局番なしの☎#8000
※ダイヤル回線、IP電話、光電話からは☎043-242-9939

【小児以外】救急安心電話相談
平日・土曜18時~翌朝8時、日曜・祝日・年末年始・GW
9時~翌朝8時 局番なしの☎#7119
※ダイヤル回線、IP電話からは☎03-6810-1636

画税の算定に必要な家屋の価格を決定するために行うものです。対象家屋の所有者には、事前に文書でお知らせします。(資産税課☎421-6695)

保健

保健センター
〒276-0042 ゆりのき台2-10
母子保健課 ☎486-7250
健康づくり課 ☎483-4646

母子保健課 早めに母子健康手帳の交付を受けましょう

医療機関で母子健康手帳の交付を受けてもよいか確認の上、妊娠8週~10週を目安に、早めに母子保健課(保健センター内)で交付を受けましょう。予約は「やちよ子育てナビ」のアプリから。外国籍の人は在留カード(旧外国人登録証明書)が必要です。持ち物については、市HPで確認を。



▲やちよ子育てナビ

妊婦・乳児健康診査を受けましょう

母子健康手帳と共に交付された「母子健康手帳別冊」にとじられている「妊婦・乳児健康診査受診票」を利用し、妊娠中に14回、生後3~6か月と9~11か月に各1回ずつ、千葉県内の医療機関で健康診査が受けられます。里帰り出産などで県外の医療機関や助産所での受診を希望する人、転入などで本市の受診票の交付を受けていない人は、電話で母子保健課へ。

乳幼児・児童生徒における千葉県外での定期予防接種の受け方

定期予防接種は市内委託医療機関での接種を案内しています。本市を除く県内の医療機関での予防接種は、千葉県内定期予防接種相互乗り入れ制度での接種が可能です。希望する医療機関に確認してください。

なお、定期予防接種の対象者で、県外に里帰りなどで長期滞在するなどを理由に、県外の医療機関での予防接種を希望する人は電話で母子保

健課へ。

離乳食教室

栄養士による講話、離乳食の試食(保護者)など。市内在住の生後7か月~1歳くらいの子を持つ保護者対象。先着15組。

▶日時 5月17日(金)午前11時~午後0時10分、午後2時~3時10分のいずれか。15分前から受け付け
▶場所 保健センター ▶申し込み やちよ子育てナビから予約を

ハローベビー教室(妊娠・出産編)

助産師などの専門職による講話。各回20人。市内在住のはじめて赤ちゃんを迎える妊婦対象(パートナー可)。なるべく妊娠7か月前後を目安に受講を。2人目以降の場合は要相談。

▶日時 5月29日(水)①午後1時15分~2時35分、②午後2時45分~4時5分。15分前から受け付け
▶場所 保健センター ▶申し込み やちよ子育てナビから予約

ハローベビー教室(子育て編)

沐浴実習と産後の生活についてのワークなど。各回24組。市内在住のはじめて赤ちゃんを迎える夫婦対象。なるべく妊娠7か月前後を目安に受講を。2人目以降の場合は要相談。受講前に右下のコードから事前学習を。

▶日時 5月11日(土)①午前9時55分~11時30分、②午後1時25分~3時。いずれも15分前から受け付け
▶場所 保健センター ▶申し込み やちよ子育てナビから予約 ▲事前学習

健康づくり課 高齢者の肺炎球菌ワクチン定期予防接種

4月1日から対象者は65歳の人になりました。対象者には65歳の誕生日の翌月に予診票を発送します。誕生日より前に発送を希望する人は健康づくり課まで。

▶対象 次の①か②に該当する市

民。過去に一度でも肺炎球菌ワクチン(ニューモバックスNP)の接種を受けたことがある人は、定期接種の対象外。①65歳の人、②今年度中に60歳から64歳になる人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害がある人(身体障害者手帳1級程度)
▶期間 65歳の誕生日の前日から66歳の誕生日の前日まで ▶場所 市内委託医療機関、県内予防接種相互乗り入れ協力医療機関など ▶費用 2,000円(生活保護受給者などは無料) 5年4月2日以降に65歳になった人で接種を受けなかった人は、66歳の誕生日の前日まで接種を受けられません。また4月2日以降に転入した65歳の人で過去に接種を受けていない人も接種対象です。予診票発送を希望する人は健康づくり課まで。

やちよ元気体操応援隊 養成講座のご案内

八千代市オリジナルのやちよ元気体操のポイントと地域の仲間と一緒に体操するためのコツを知るための講座です。先着24人。

▶日時 5月10日、24日、31日いずれも金曜日午前9時30分~11時30分 ▶場所 八千代市保健センター ▶申し込み 4月15日(月)から5月2日(木)までに電話で健康づくり課へ

習志野保健所から

■精神保健福祉相談(予約制)
精神疾患や心の健康について、精神科医が相談をお受けします。

▶日時/場所 5月20日(月)午後2時から/八千代市障害者福祉センター、5月14日(火)午後2時から/習志野保健所 ▶問い合わせ 地域保健課☎475-5152

■思春期相談(予約制)

4月の納期
納期限は4月30日(火)です
スマホアプリで納付ができます。
または、納め忘れのない口座振替が便利です
固定資産税・都市計画税...1期

けんこうかんりコーナー

No.583 災害と口の話

関東大震災から今年で100年と聞きます。阪神淡路大震災、東日本大震災と数えきれない災害が過去にはありました。災害時の備えとして、非常食、水、簡易トイレ、懐中電灯、非常用バッテリーなどがまず頭に浮かびますが、歯ブラシなどの口腔ケアグッズも凄く大切です。読者の皆様は用意されていますか?実は、避難生活において歯や義歯の清掃ができずにいると、口の中はバイ菌にとって格好の住処(すみか)となりバイ菌が食事とともに気管、胃、腸へ

八千代市歯科医師会



と行き、虫歯、歯周病はもちろん体調不良の原因になります。口腔清掃が保てずにいると、特に高齢者においては誤嚥性肺炎が起こりやすくなり注意が必要です。阪神淡路大震災の時には、この肺炎で200人以上が亡くなりました。最近、液体ハミガキ、無水ハミガキなど製品も増え備蓄用品に加えてはどうでしょう。災害時、お困りの時は歯科医院である程度の口腔ケア用品の備蓄があると思いますので、かかりつけ医に相談してみるのも良いでしょう。

- 齋田忠徳【教育委員会】
- 渡邊久貞【指導課長 加藤英昭】
- 指導課主幹 高木礼子
- 保健体育課長 宗像洋
- 学校給食センター所長 松井達彦
- 生涯学習振興課長(総合生涯学習プラザ)所長・ガキ大将の森 キャンプ場長 事務取扱(井澤延浩)
- 文化・スポーツ課長 笠川浩伸
- 消防本部 予防課長 島崎直樹
- 予防課主幹(査察担当) 坂智昭
- 警防課長 杉田剛
- 警防課主幹(指揮指令担当) 川村和也
- 警防課主幹(救急担当) 申田崇
- 中央消防署署長代理(中央消防署八千代台分署署長兼務)(中央消防署陸分署署長兼務) 河島俊彦
- 東消防署署長代理(東消防署勝田台分署署長兼務) 林正和
- 上下水道局 上水道課主幹(建設担当) 高柳雄一郎